

盛岡市街路交通実態調査 集計結果の概要

平成19年7月27日

盛 岡 市

目 次

第1章 調査概要	1
1. 通勤通学交通行動調査	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象者	1
(3) 配布回収方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 配布回収結果	1
2. 全日交通行動調査	2
(1) 調査の目的	2
(2) 調査対象者	2
(3) 配布回収方法	2
(4) 調査期間	2
(5) 配布回収結果	2
第2章 集計結果概要（通勤通学交通行動調査）	3
1. 通勤者の交通特性	3
(1) 自動車免許保有状況	3
(2) 通勤代表交通手段	4
(3) 通勤代表交通手段別の人の動き	5
2. 通学者の交通特性	12
(1) 自動車免許保有状況	12
(2) 通学代表交通手段	13
(3) 通学代表交通手段別の人の動き	14

第1章 調査概要

1. 通勤通学交通行動調査

(1) 調査の目的

通勤通学交通行動調査は、交通の基となる人の通勤や通学時での動きを把握することを目的としております。

その内容は、どのような人が、どこからどこ（通勤先や通学先）へ、どのような交通手段で、どの時間帯に移動しているかについて、普段の通勤や通学時の交通の行動について調べるものです。この調査と次ページの全日交通行動調査を基に、盛岡市の将来の交通計画を策定することにしております。

(2) 調査圏域（調査対象範囲）と調査の対象者

- ・調査圏域は、盛岡市、滝沢村、矢巾町の1市1町1村です。
- ・調査対象者は、調査対象範囲に通勤や通学している人の中から無作為に選ばれた約2万5千人です。
- ・通勤者：パートやアルバイトの人も含まれます。
- ・通学者：高校生、専修学校生、大学生、短大生（小中学生は含まれません。）

(3) 調査の実施方法

この調査は、調査圏域（調査対象範囲）にある事業所（会社）や学校を通じて調査票を郵送により配布・回収する方法で行いました。

(4) 調査期間

平成18年10月5日～10月20日

（普段の通勤通学の行動について調査を行いました。）

(5) 配布回収結果

通勤通学交通行動調査の配布回収結果は表1-3のとおりで、目標を上回る多くの人から回答いただくことができました。

表 1-3 通勤通学交通行動調査の配布回収結果

調査対象	総数	配布票数	目標回収票数	回収票数	回収率
通勤者	182,458	22,858	11,216	13,533	59.2%
通学者 (高校, 専修学校, 短大, 大学)	32,210	2,418	1,989	2,313	95.7%
合計	214,668	25,276	13,205	15,846	62.7%

2. 全日交通行動調査

(1) 調査の目的

この調査は、通勤通学交通行動調査ではとらえられない通勤通学以外の業務や私事等の全目的での人の一日の動きを把握することを目的としています。

その内容は、どのような人が、どこからどこへ、どのような目的・交通手段で、どの時間帯に動いたかについて、調査日1日全ての動きを調べるものです。

この調査は、通勤通学交通行動調査を補完するために実施しました。

(2) 調査圏域（調査対象範囲）と調査対象者

- ・調査圏域は、盛岡市、滝沢村、矢巾町の1市1町1村です。
- ・調査対象者は、調査圏域に住んでいる世帯から無作為に選ばれた世帯の5歳以上の人口約8千人です。

(3) 調査の実施方法

調査圏域内から無作為に選ばれた世帯に調査票を郵送により配布回収する方法で行いました。

(4) 調査期間

平成18年10月5日～10月20日

(10月11日又は12日のどちらか一日の動きについて調査を行いました。)

(5) 配布回収結果

全日交通行動調査の配布回収結果は表1-4のとおり目標を大きく上回る人から回答をいただきました。

表 1-4 全日交通行動調査の配布回収結果（票数ベース）

調査対象	配布票数	目標回収票数	回収票数	回収率
圏域内居住者（5歳以上） 357,529人	8,309	1,662	3,193	38.4%

※ 全日交通行動調査結果については、現在、平成17年に実施された全国都市交通特性調査と合わせて集計中のため集計がまとまり次第公表します。

第2章 集計結果概要（通勤通学交通行動調査）

1. 通勤者の交通特性

(1) 自動車免許の保有状況

①通勤者の自動車免許保有状況

- ・免許保有率は約94%であり、昭和59年時点の保有率約68%から大きく増加しています。
- ・性別で見ると男性が約98%、女性が約89%となっており、男性の保有率が高くなっています。

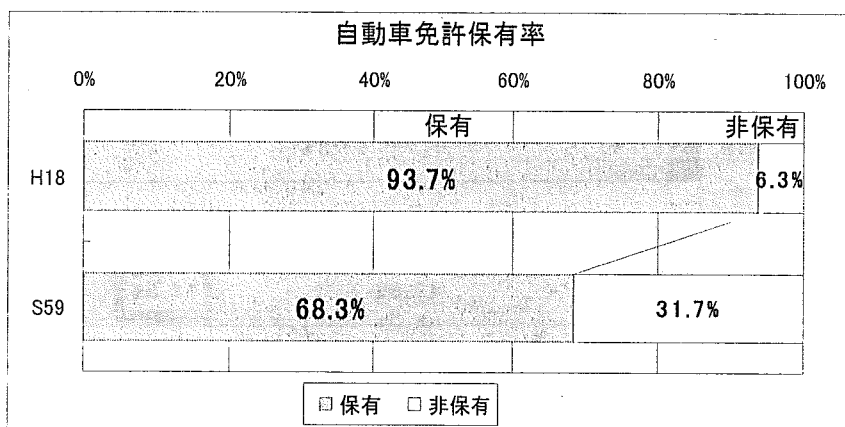


図 2-1 通勤者の自動車免許保有率の経年比較

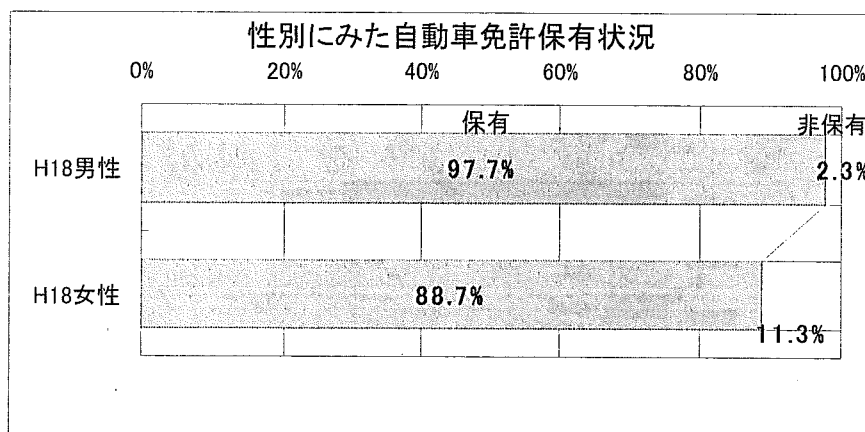


図 2-2 性別にみた、通勤者の自動車免許保有率

(2) 通勤代表交通手段（通勤者の通勤時の代表的な交通手段）

①通勤者代表交通手段

- ・ 通勤代表交通手段を見ると自動車利用が約67%と最も多く、次に自転車が約12%、バスが約8%、徒歩が約6%、鉄道が約3%、バイクが約3%となっています。
- ・ 昭和59年と比較すると、自動車や鉄道が大きく増加しており、バイク・自転車・徒歩が大きく減少しているほか、路線バスもやや減少しています。

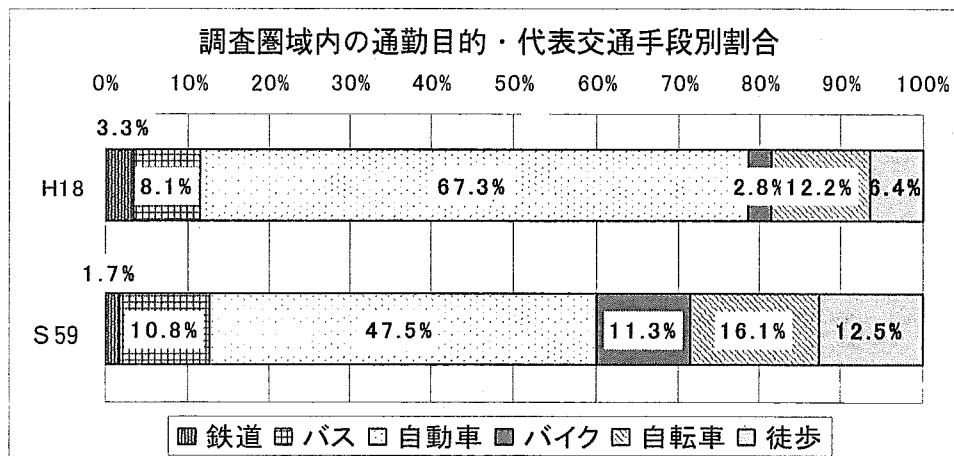


図 2-3 通勤者の代表交通手段構成

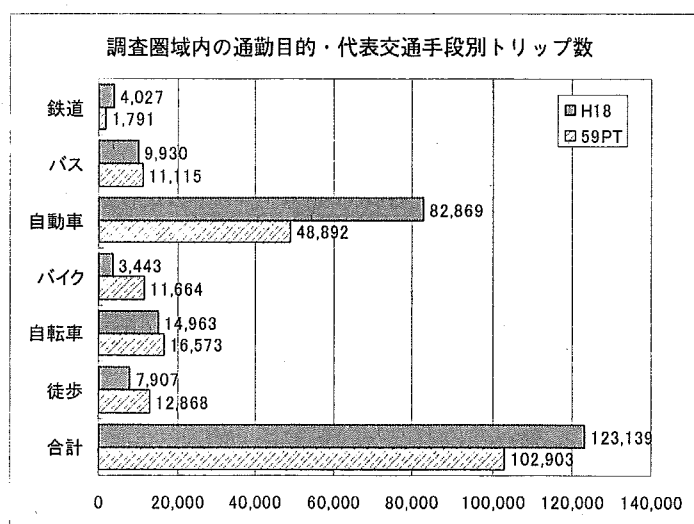


図 2-4 通勤代表交通手段別トリップ数

※トリップ：1つの目的のため、ある場所からある場所へ移動することを「トリップ」といい、目的が変わるごとにトリップも変わります。
 （通勤の目的で自宅から勤務先への移動で1トリップとなる）

(3) 通勤の代表交通手段別の人の動き

①全手段（鉄道・バス・自動車・バイク・自転車・徒歩の全ての手段）

・下の図は、通勤目的の人の動きを表したもので、線が太いほど各地域（下図の赤字）間の人動きが多いことがわかります。

青山⇄滝沢や黒石野⇄内丸が特に多く、次いで青山⇄内丸、都南⇄矢巾の動きが多くなっています。

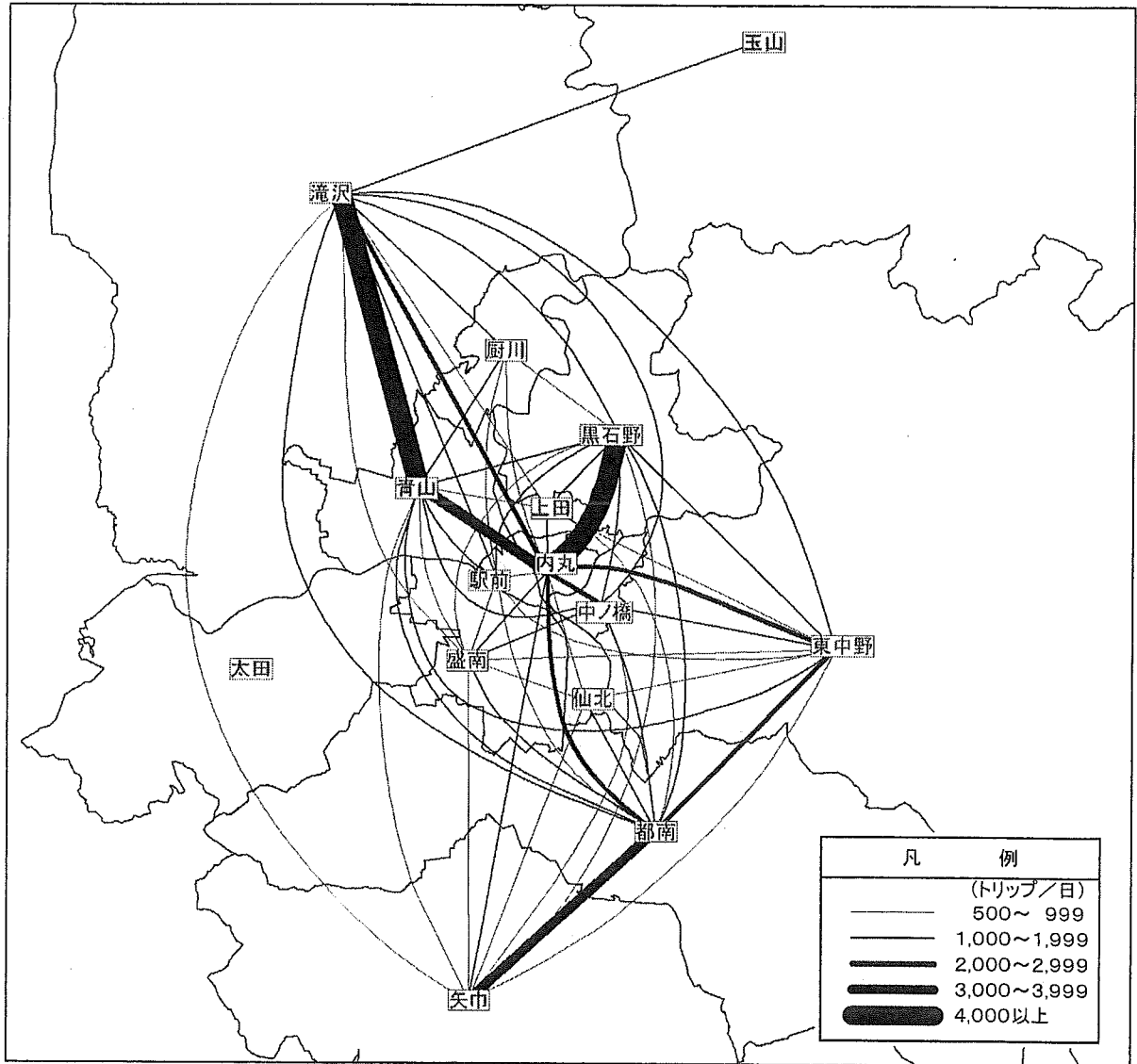


図 2-5 通勤目的の人の動き（全手段）

②代表交通手段（鉄道）

- ・ 鉄道を利用して通勤する人の動きは、郊外部と盛岡都心部の南北方向での移動が多くなっています。

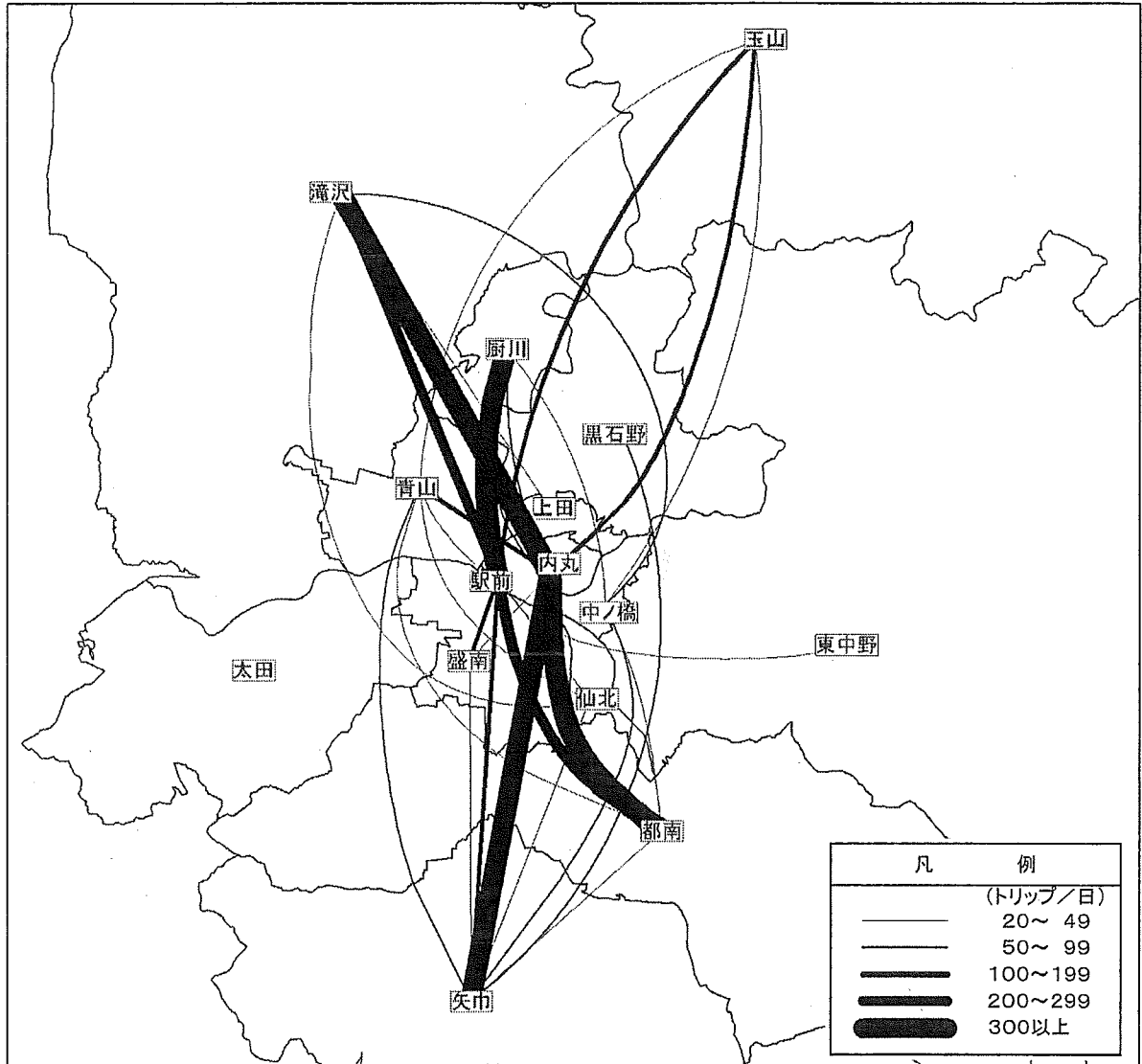


図 2-6 通勤目的の人の動き（代表交通手段鉄道）

③代表交通手段（バス）

- ・バス利用して通勤する人の動きは、郊外部と盛岡都心部の移動が多くなっていますが、鉄道利用と比べると、矢巾や厨川、玉山で利用が少なく、青山や黒石野で利用が多くなっています。

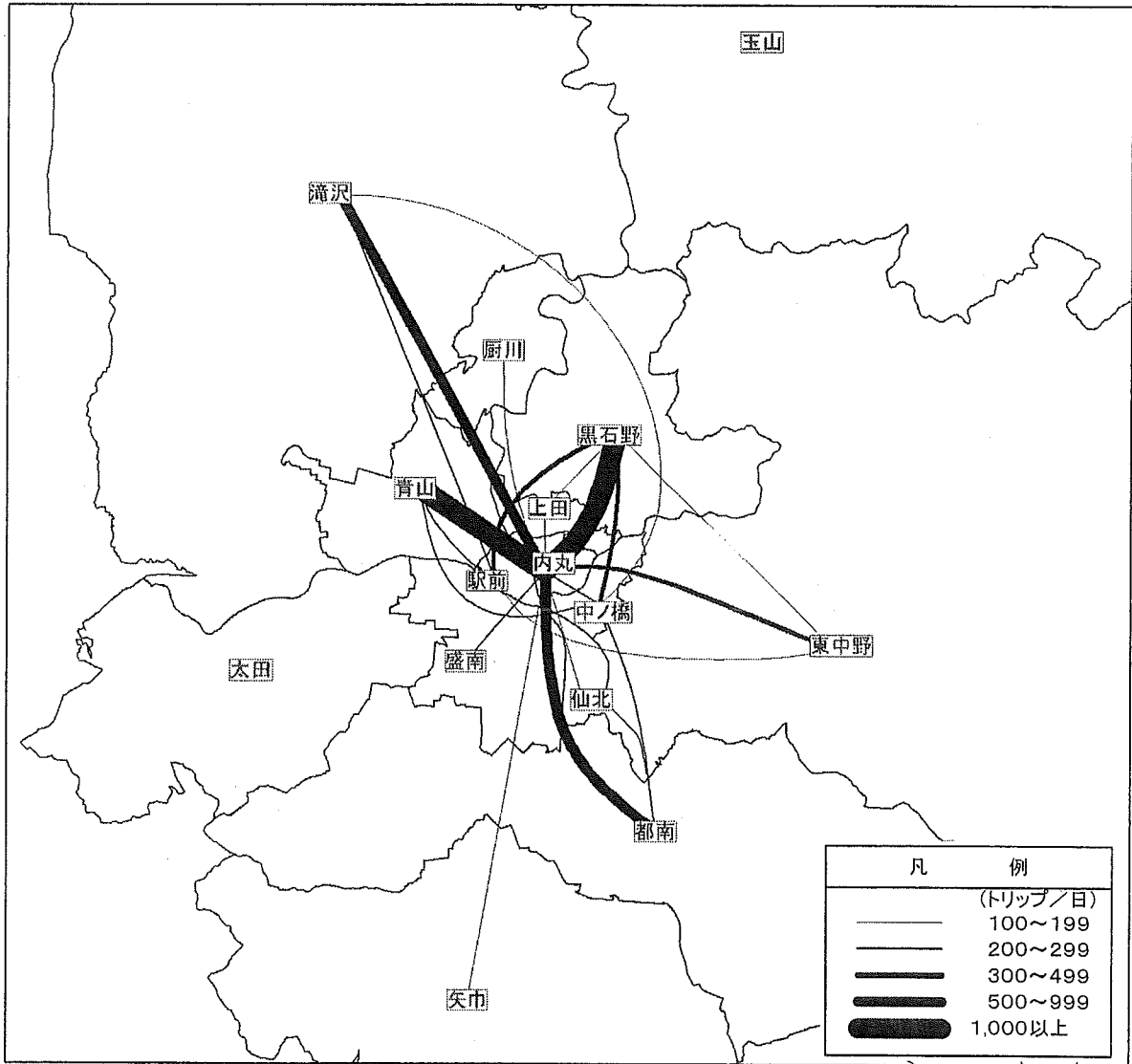


図 2-7 通勤目的の人の動き（代表交通手段バス）

④代表交通手段（自動車）

- ・自動車通勤する人の動きは、青山⇔滝沢、都南⇔矢巾等、郊外部間の移動が多くなっています。

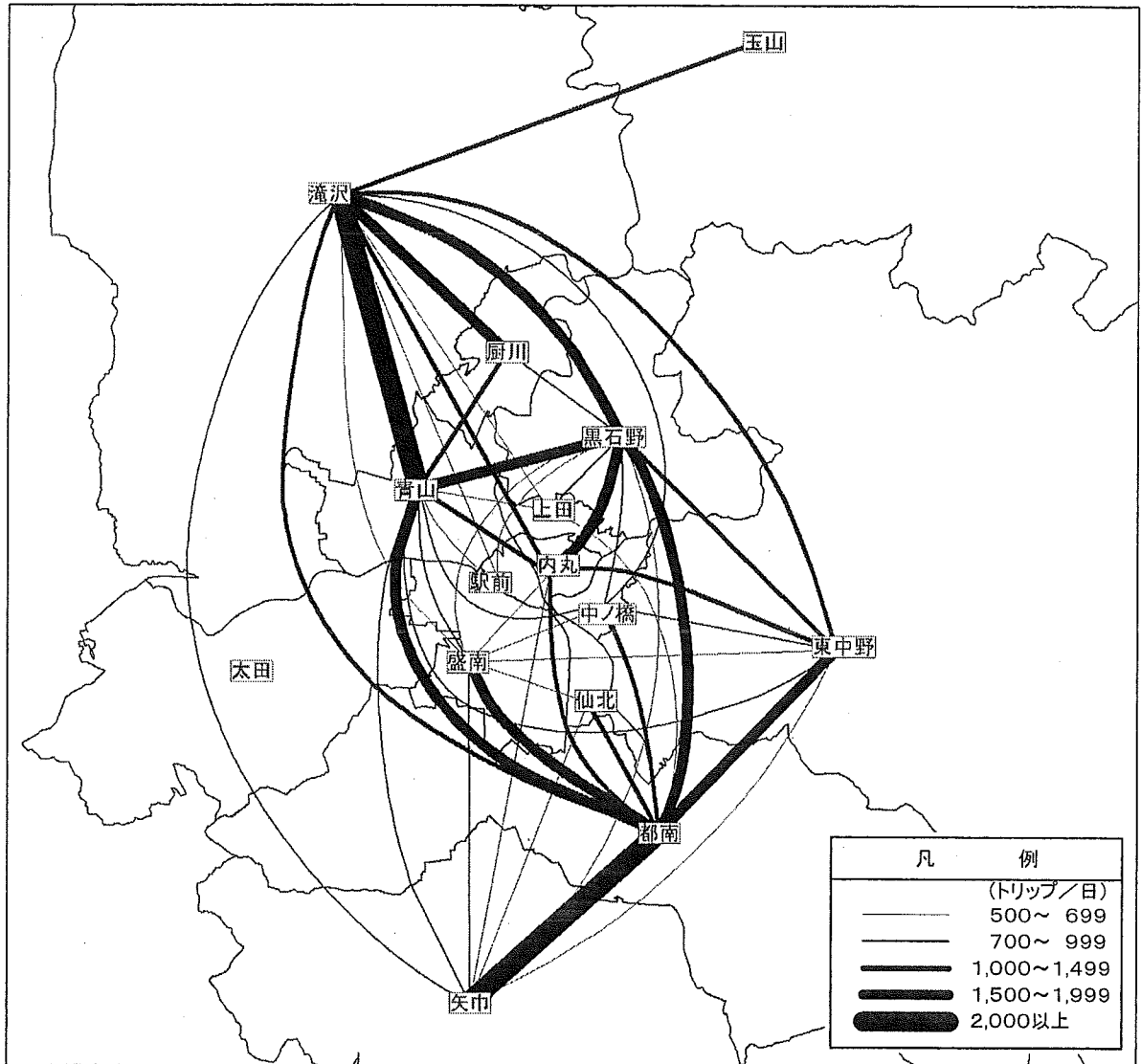


図 2-8 通勤目的の人の動き（代表交通手段自動車）

⑤代表交通手段（バイク）

- ・バイクで通勤する人の動きは、盛岡市内の各方面⇄盛岡都心部の移動が多くなっています。

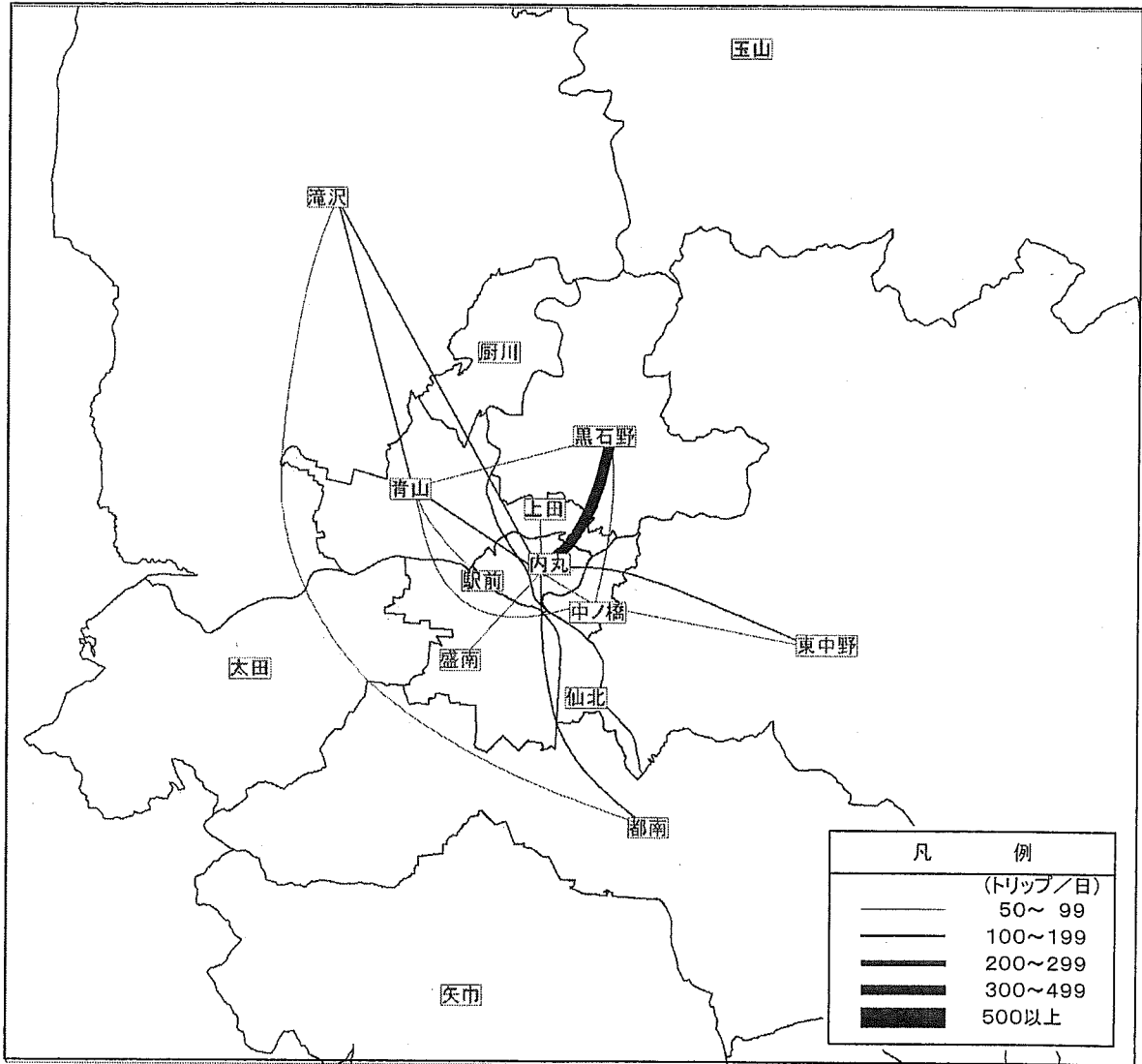


図 2-9 通勤目的の人の動き（代表交通手段バイク）

⑥代表交通手段（自転車）

- ・自転車で通勤する人の動きは、盛岡市内の各方面⇄盛岡都心部の移動が多くなっています。

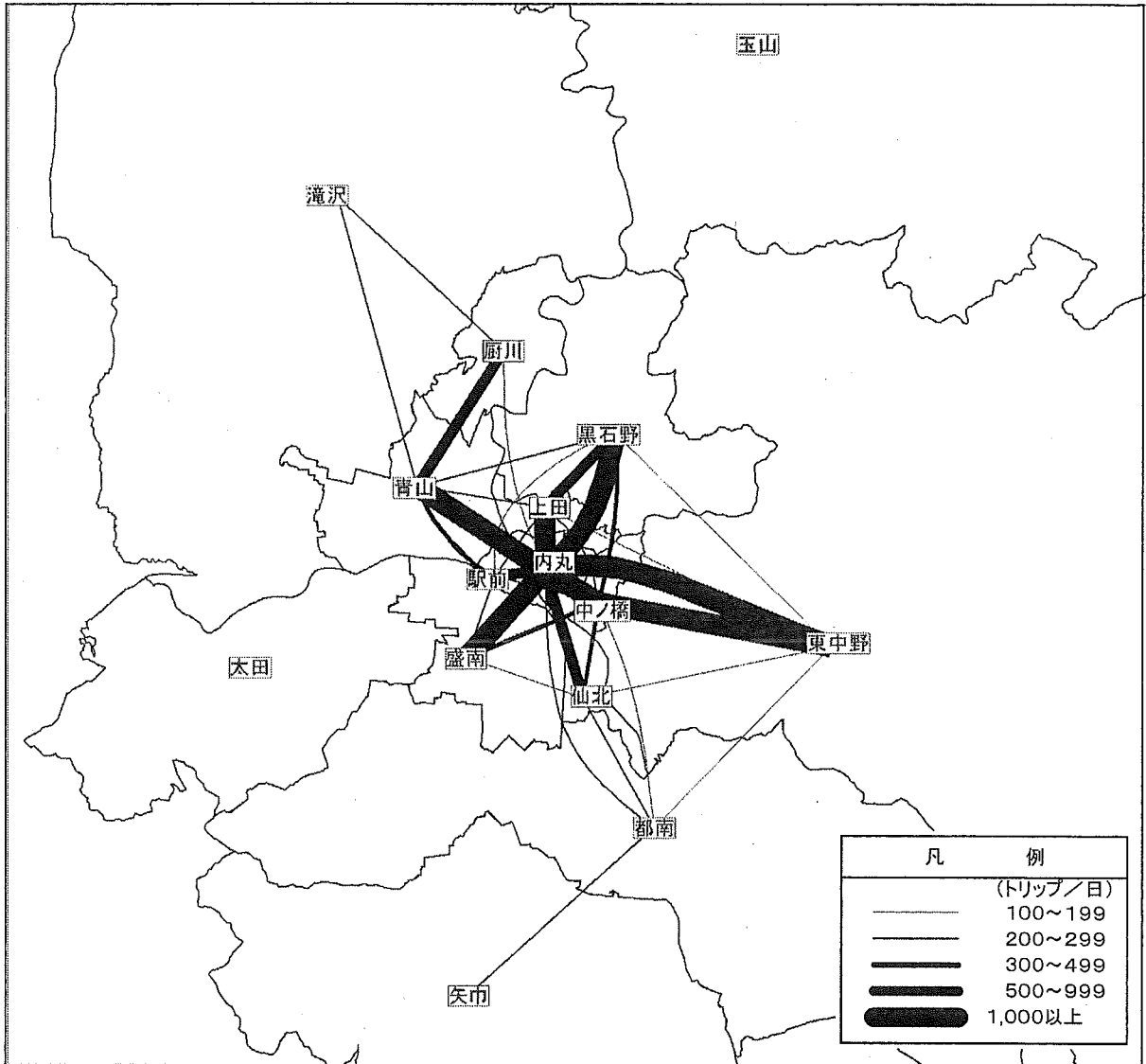


図 2-10 通勤目的の人の動き（代表交通手段自転車）

⑦代表交通手段（徒歩）

- ・徒歩で通勤する人の動きは、二輪車と同様に、盛岡市内の各方面⇄盛岡都心部の移動が多くなっています。

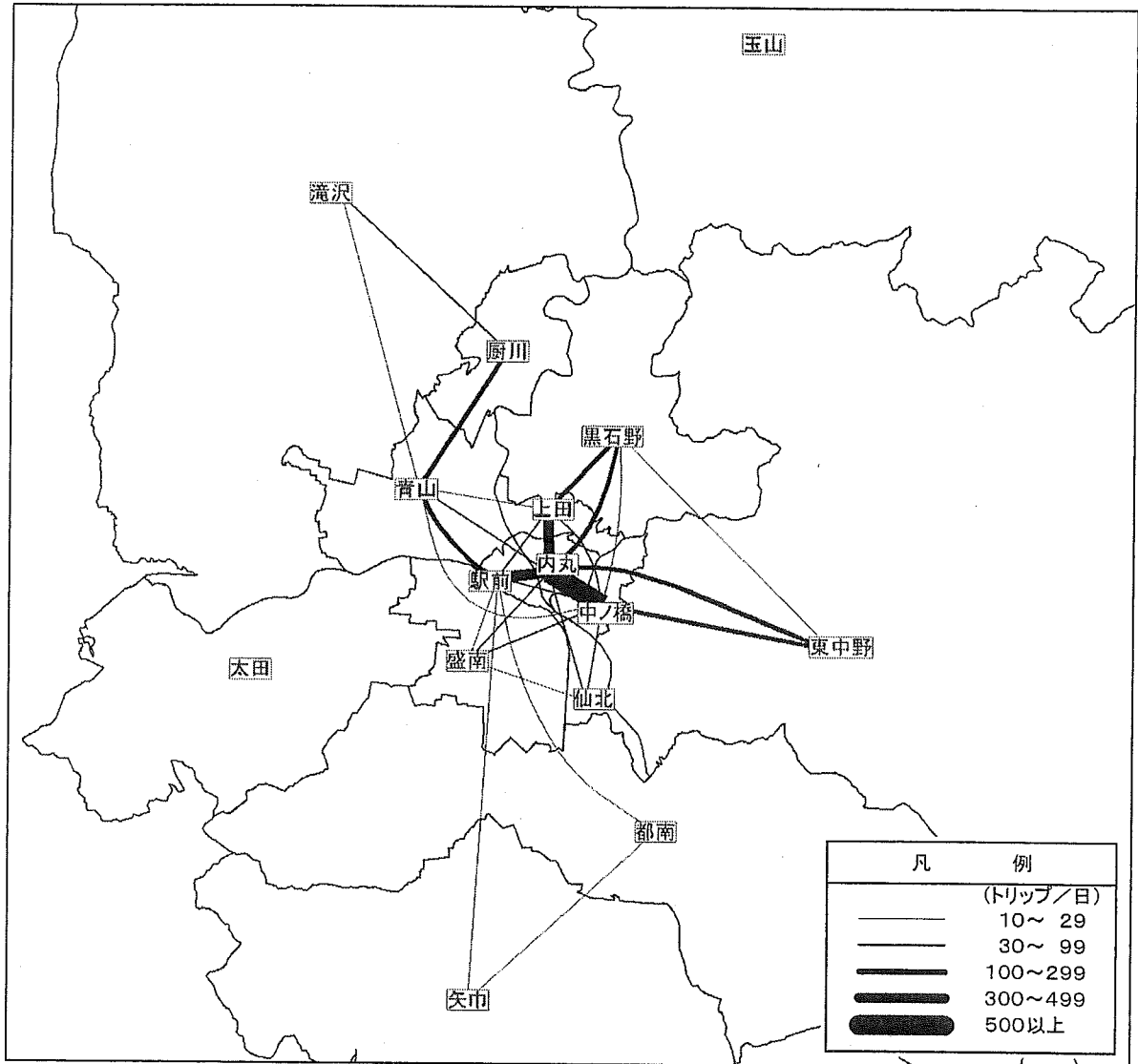


図 2-11 通勤目的の人の動き（代表交通手段徒歩）

2. 通学者の交通特性

(1) 自動車免許保有状況

- ・通学者の自動車免許保有率を学校種類別にみると、高等学校では 0%ですが、短大・大学や専修学校では、約 65%程度となっており、高校卒業後の早い段階で免許を取得する人が多いことがわかります。

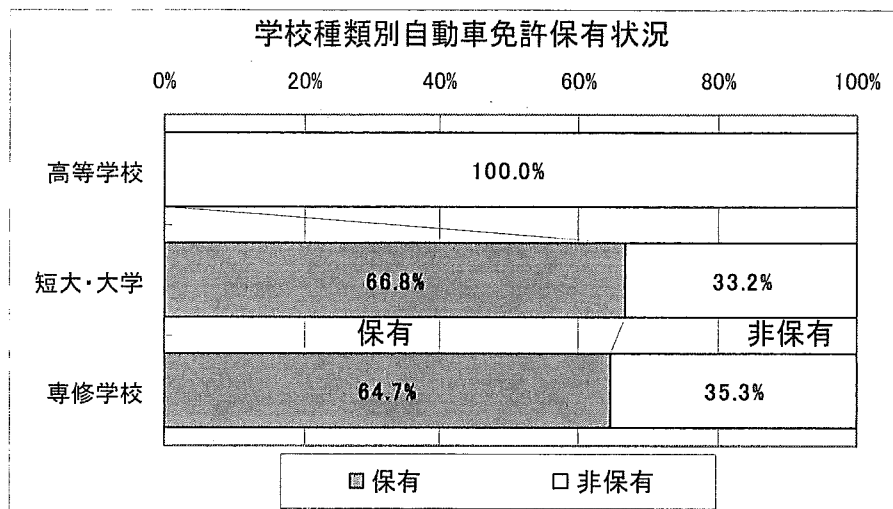


図 2-12 学校種類別にみた、通学者の自動車免許保有状況

(2) 通学代表交通手段（通学時の代表的な交通手段）

- ・通学時の代表交通手段割合みると、自転車が多く、次いで鉄道が30%程度、自動車は10%程度で、バスや徒歩は、5%程度、バイクは2%と少ない状況です。
- ・また、学校種類にみると、短大・大学で自動車利用が20%程度と多く、鉄道利用が少ないのに対し、専門学校は鉄道が50%程度と多く、自転車が少なくなっています。
- ・トリップ数は全体で約2万9千トリップとなっており、最も利用率の高い自転車で約1万4千トリップ、次いで鉄道の8千トリップとなっています。

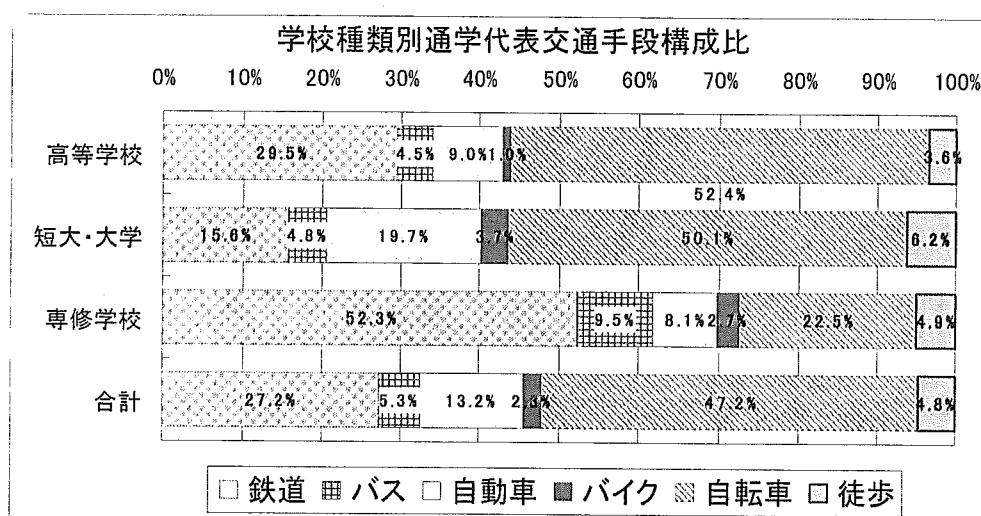


図 2-13 学校種類別にみた、通学者の代表交通手段

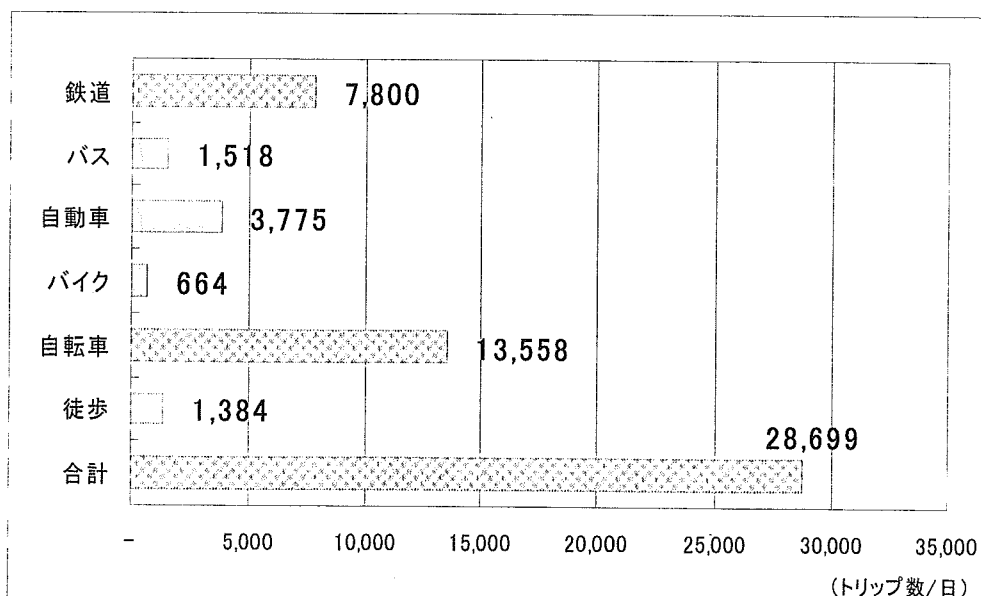


図 2-14 通学者の代表交通手段別トリップ数

(3) 通学目的の代表交通手段別の人の動き

①全手段（鉄道・バス・自動車・バイク・自転車・徒歩）

・通学目的の人の動きについて、各地域間の移動をみると、黒石野⇄上田や厨川⇄滝沢が多く、次いで青山⇄滝沢、黒石野⇄滝沢が多くなっています。

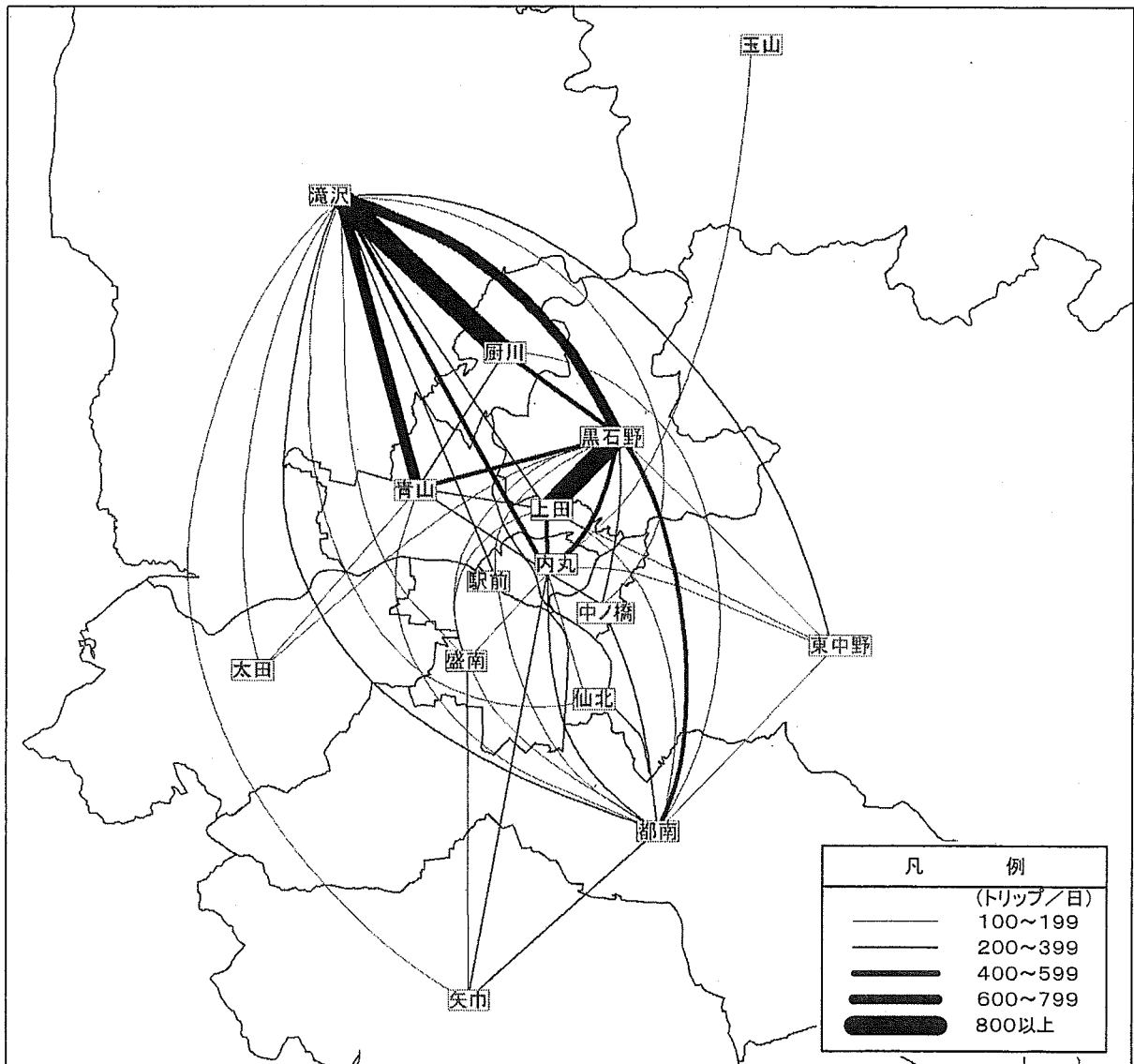


図 2-15 通学目的の人の動き（全手段）

②代表交通手段（鉄道）

- ・ 鉄道を利用して通学する人の動きは、郊外部と盛岡都心部の南北方向の移動が多くなっています。

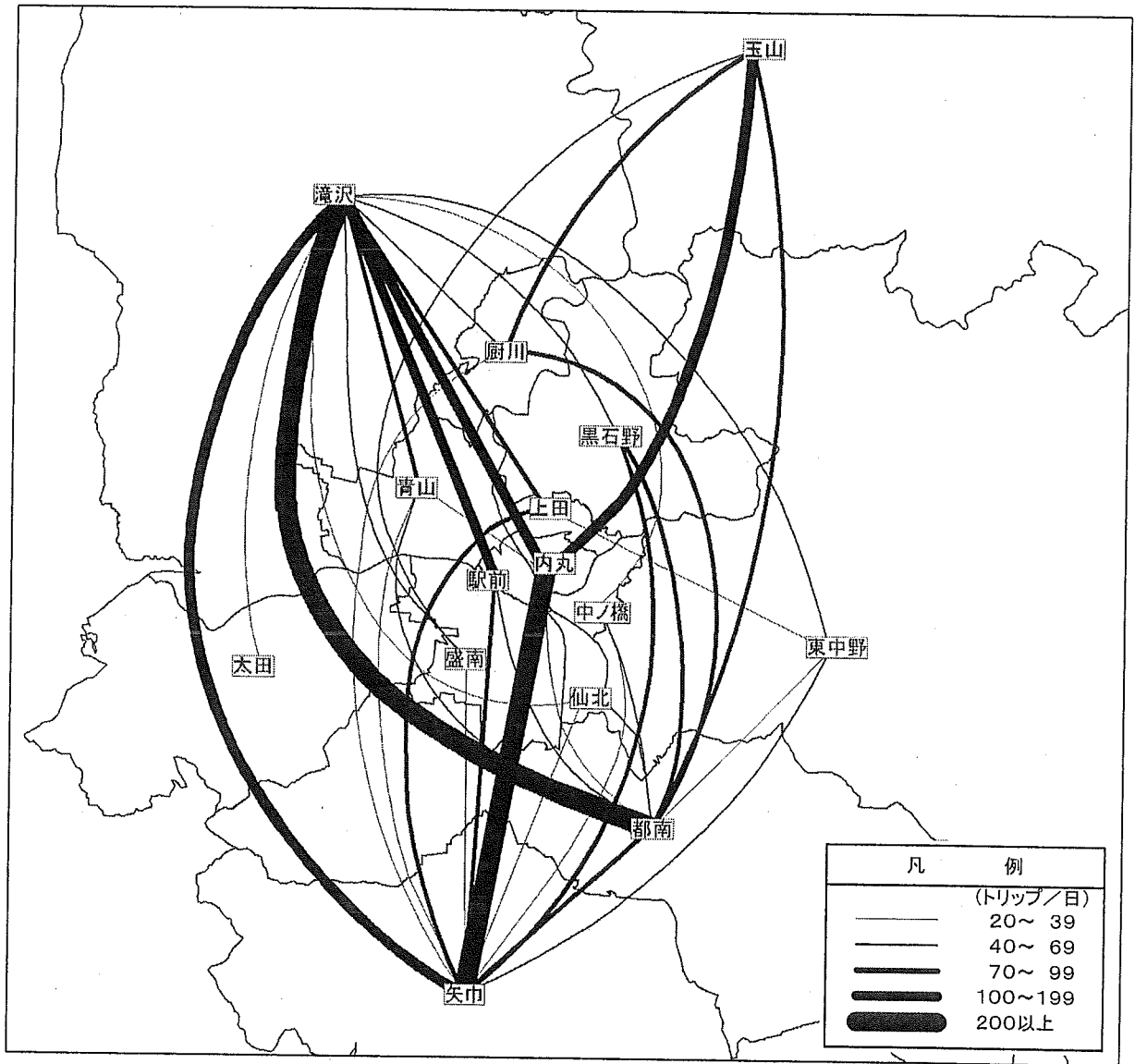


図 2-16 通学目的の人の動き（代表交通手段鉄道）

③代表交通手段（バス）

- ・バスを利用して通学する人の動きも郊外部と盛岡都心部の移動が多くなっていますが，鉄道利用と比べると，矢巾や都南，玉山中で利用が少なく，滝沢⇄内丸や内丸⇄黒石野や黒石野⇄滝沢で利用が多くなっています。

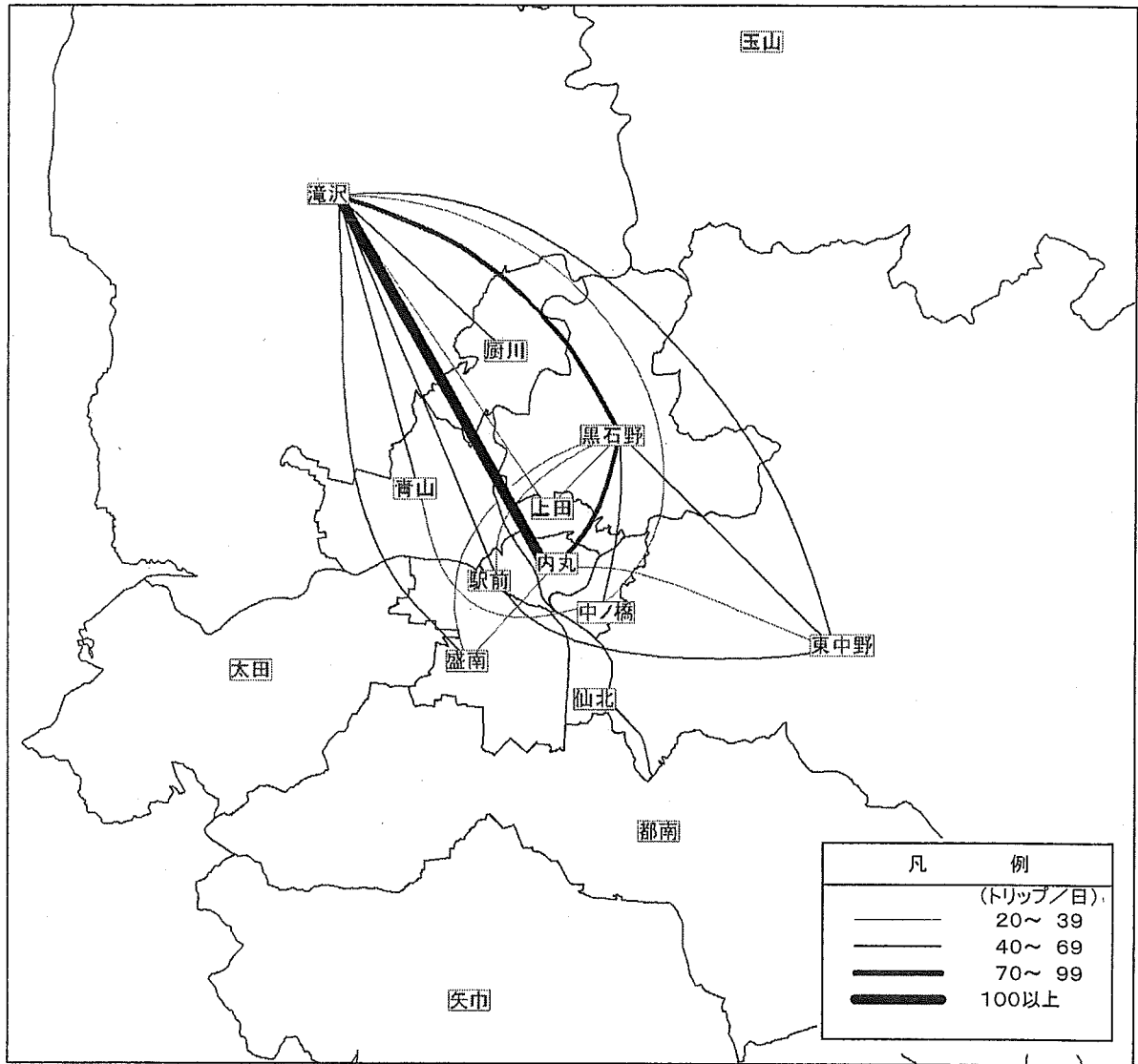


図 2-17 通学目的の人の動き（代表交通手段バス）

④代表交通手段（自動車）

- ・自動車を利用する通学は、郊外の大学・短大がある滝沢に関連した移動が多くなっています。

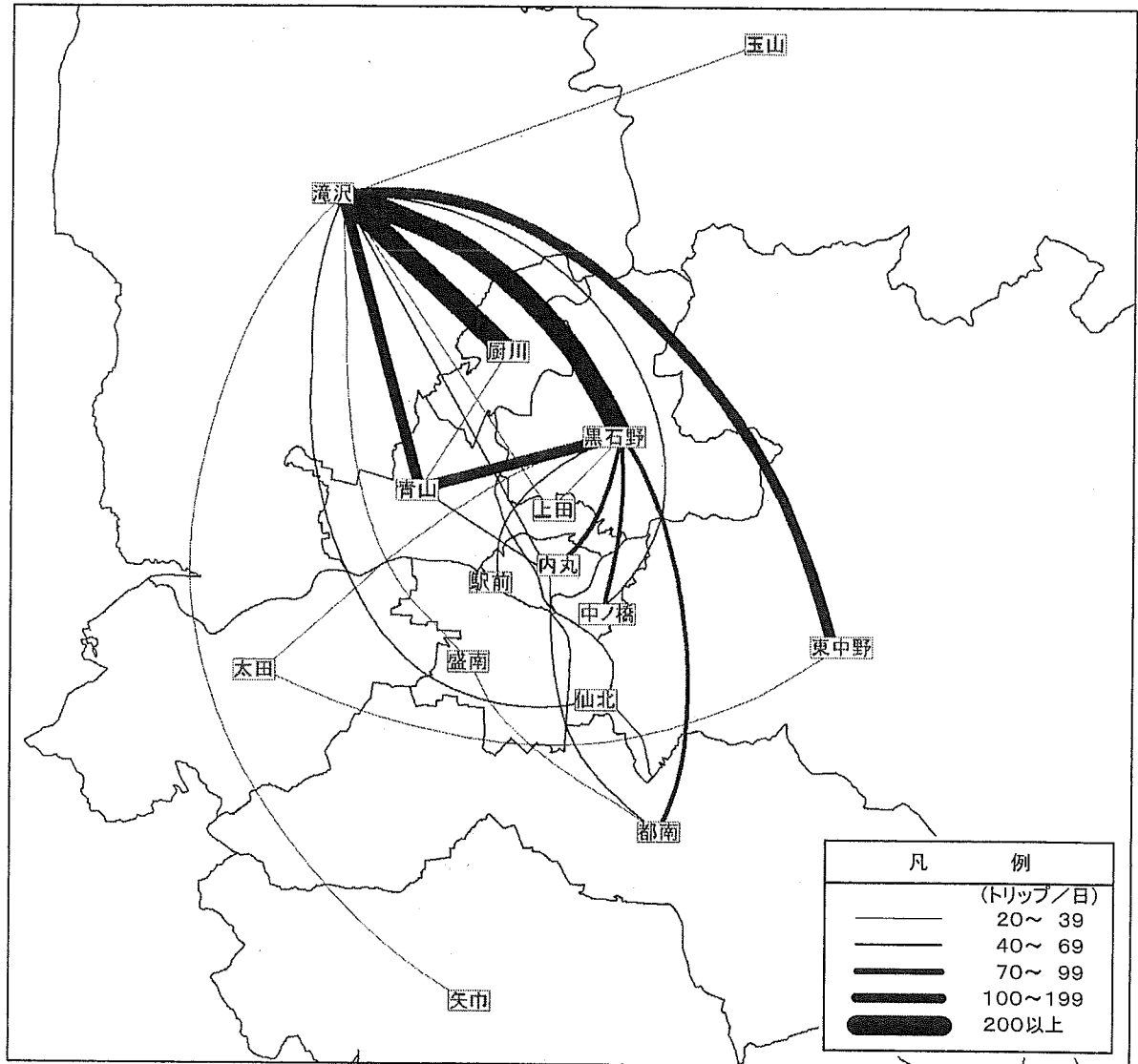


図 2-18 通学目的の人の動き（代表交通手段自動車）

⑤代表交通手段（バイク）

・バイクを利用したの通学する人の動きは、短大や大学のある滝沢や黒石野と関連した移動が多くなっています。

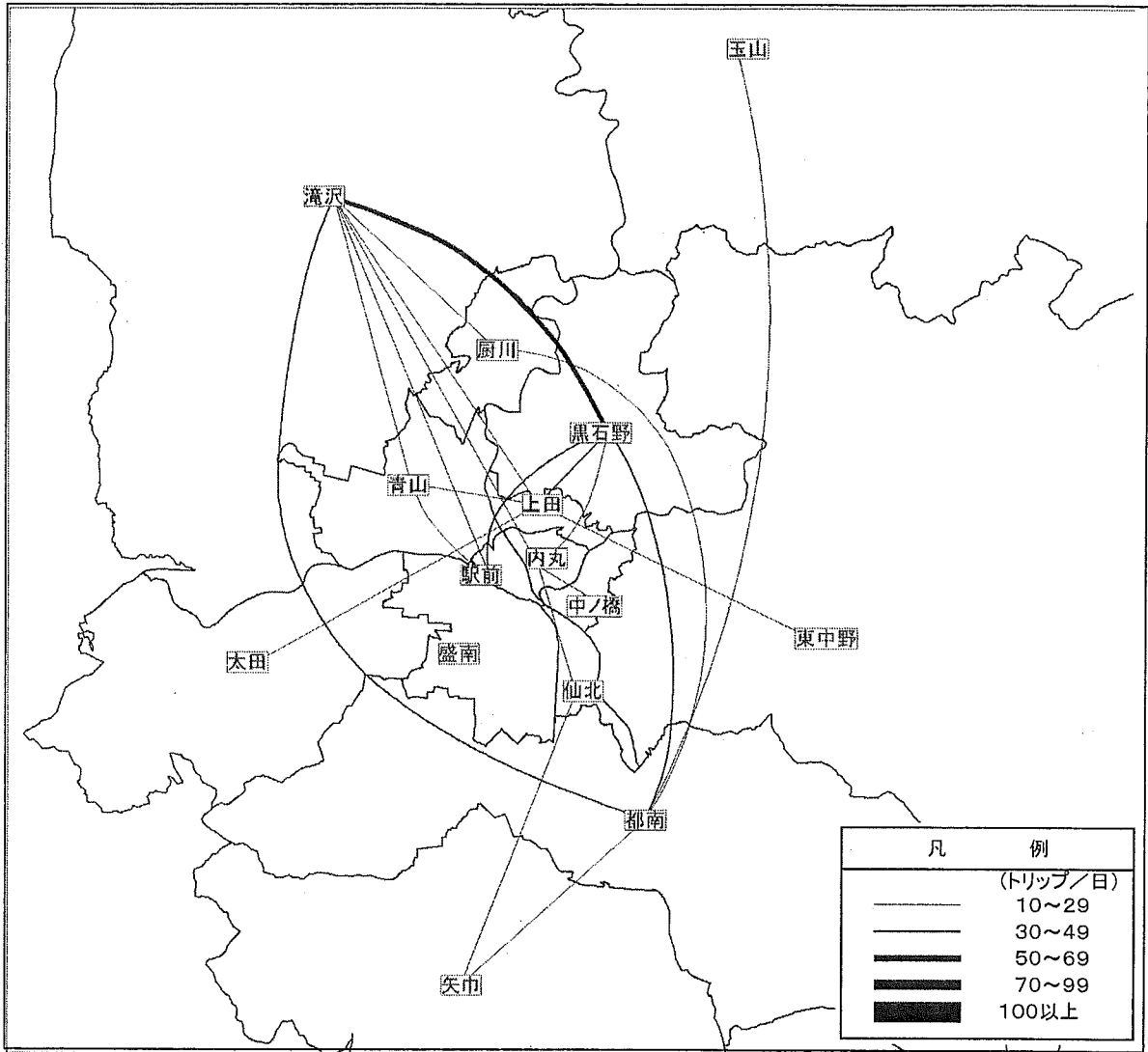


図 2-19 通学目的の人の動き（代表交通手段バイク）

⑥代表交通手段（自転車）

- ・ 自転車を利用するの通学する人の動きは、高等学校や大学のある上田や黒石野と関連した移動が多くなっています。

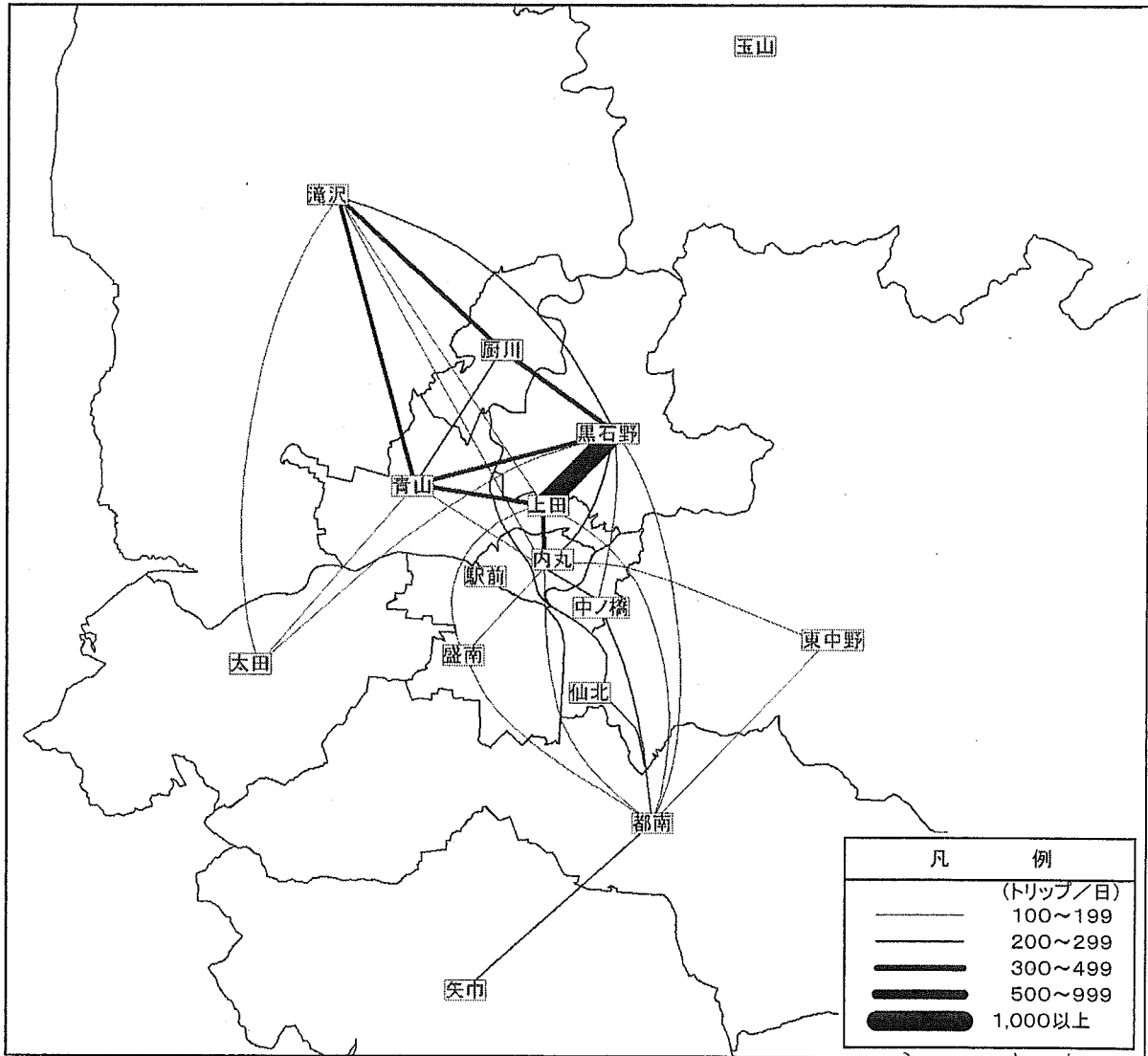


図 2-20 通学目的の人の動き（代表交通手段自転車）

⑦代表交通手段（徒歩）

- ・徒歩で通学する人の動きは，地域をまたぐ移動は少なく，内丸⇄上田，内丸⇄中ノ橋等でみられます。

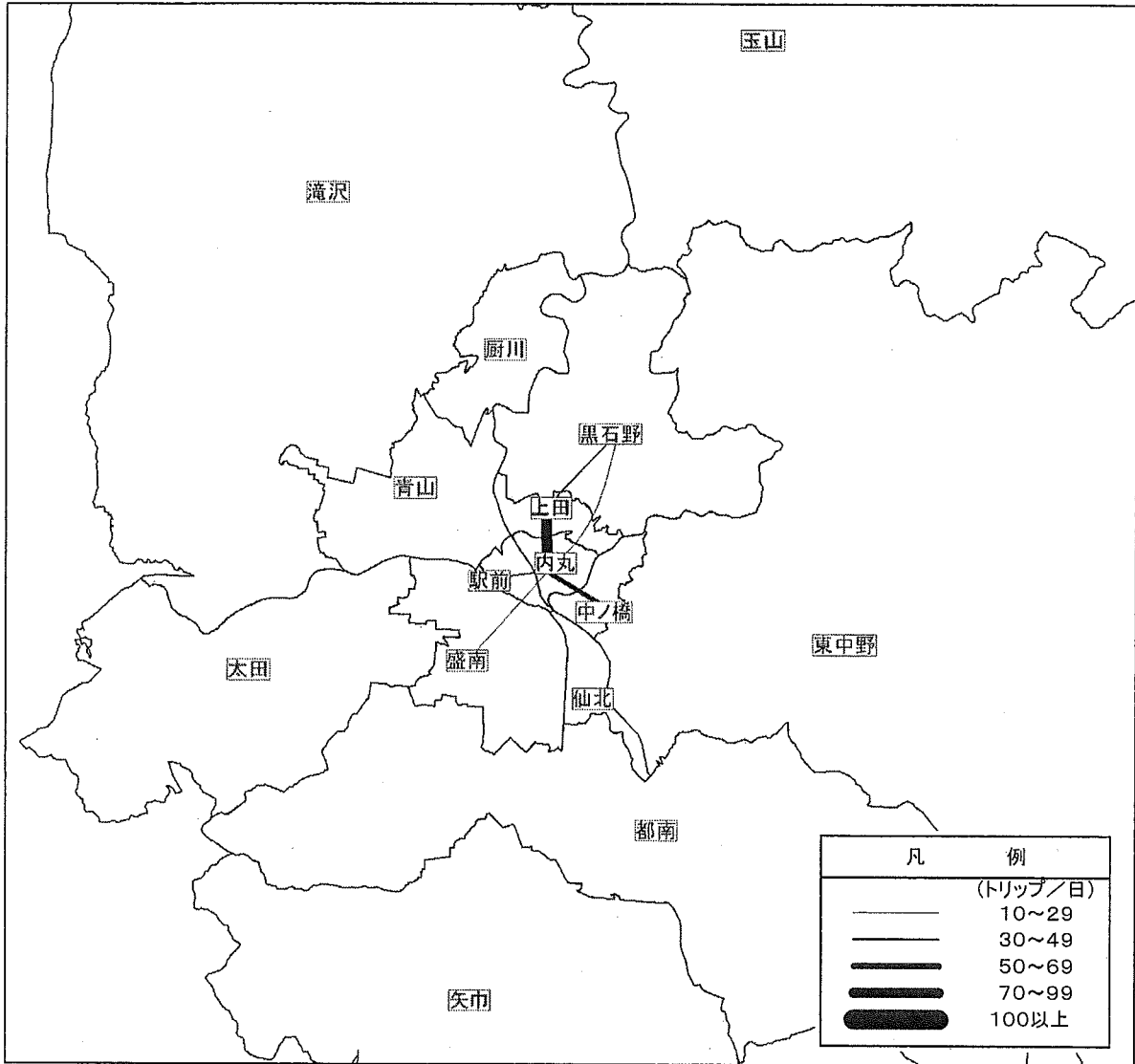


図 2-21 通学目的の人の動き（代表交通手段徒歩）